

鹿乗川関連遺跡発掘調査だより

No.1



宮下南遺跡 047SD 弥生土器(壺)清掃作業

◎発掘調査を開始しました。

6月13日から北端の宮下南遺跡から発掘調査を始めました。今年度の発掘調査は鹿乗川の河川改修工事に伴う事前発掘調査で、これから3月半ばまで

みやしたみなみ 宮下南遺跡を始め、しもかけ 下懸遺跡、よせじま 寄島遺跡、ひめした 姫下遺跡、むかいだ 向田遺跡、かめづか 亀塚遺跡、なかはざま 中狭間を調査する予定です。これまでの調査では、弥生時代から古墳時代を中心とした遺構等が見つかっています。

地元の皆様には、調査に伴う通行止め等でご迷惑をおかけすることもあります。なにとぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

委託者：愛知県埋蔵文化財センター TEL：0567-67-4163（担当：田中、池本）

ホームページ <http://www.maibun.com/>

受託者：安西工業株式会社 現場代理人 TEL：090-3704-3565（中谷）



宮下南遺跡では、弥生時代から平安時代の遺構が見つかりました。大きく上下2層に分かれ、上層は出土した遺物から平安時代が中心と考えられ、下層は弥生時代から古墳時代初頭の竪穴建物跡や溝などの遺構が見つかりました。



下層で見つかった弥生時代の溝からは、壺の頸部よりも下の部分が出土しました。下層の遺物は残存状態が良いため、今後の更なる遺物の出土が期待されます。